

リウマチ科

1. 概要

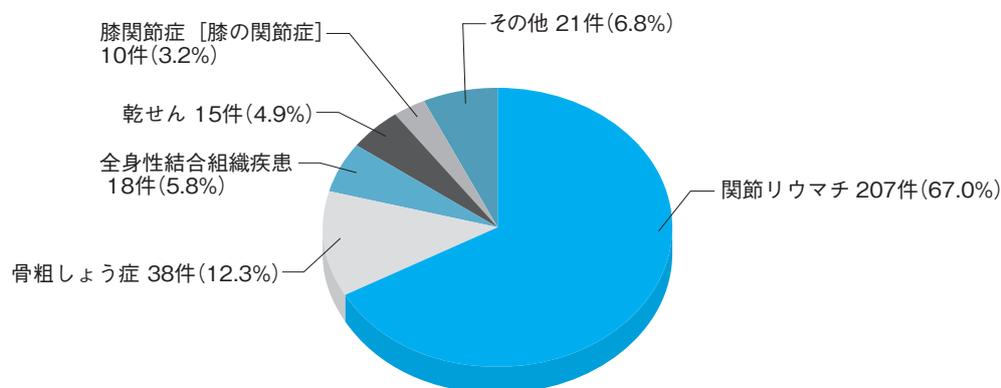
当科は内科的治療を基本とし、整形外科より発展したため外科的治療も行っている。当科の診療の4本柱について記す。2017年度は平野、服部の2人のリウマチ科常勤医を中心に、研修中の整形外科若手医師の助けも借りて診療に当たっていた。2018年度は服部の代わりに紀平が所属となる。

- ① 関節リウマチ（RA）の薬物治療：MTXを中心とした古典的抗リウマチ薬を早期から使用し、効果不十分例には生物学的製剤やJAK阻害剤を導入し関節破壊の防止に努めている。新薬の治療も行っている。
- ② 各種リウマチ性疾患（強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、リウマチ性多発筋痛症、SAPHO症候群）：比較的珍しい疾患群であるが対応し、疾患ごとの適切な治療を行っている。
- ③ 骨粗鬆症の診療：古典的薬剤に加え、新規薬剤（テリパラチド、デノスマブ）が出現し、パラダイムシフトが起こっている。骨折診療の潮流は治療から予防に向かっている。
- ④ RAの外科的治療：長期罹病RA患者には外科的治療が必要であり、薬物治療とのコンビネーションこそが最高の結果をもたらす。人工関節置換術、関節固定術、関節形成術を行っている。

（部長 平野 裕司）

2. 新規登録疾患

総数：309件



3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	13,165人	年間外来新患者数	207人
年間入院患者数	1,195人	年間入院新患者数	50人

(2) 実績

関節リウマチ患者背景		
症例数(例)		995
新患者数(各年)(人)		97
性別	男(人)	237
	女(人)	758
	女性率(%)	76.2
平均年齢(歳)		65.9
平均罹病期間(年)		13.6
罹病期間分類(%)	2年以下	14.8
	3年～9年	30.9
	10年以上	54.3
Stage(%)	I	25.6
	II	9.8
	III	27.7
	IV	37.0
Class(%)	1	40.5
	2	46.4
	3	11.1
	4	2.0
RF陽性率(%)		79.8
ACPA陽性率(%)		80.3

関節リウマチ薬物治療		
MTX 投与者(例)		626
MTX 投与率(%)		62.9
投与例の平均 MTX 投与量(mg/w)		8
GST 投与者(例)		25
GST 投与率(%)		2.5
SASP 投与者(例)		171
SASP 投与率(%)		17.2
TAC 投与者(例)		143
TAC 投与率(%)		14.4
IGU 投与者(例)		124
IGU 投与率(%)		12.5
BUC 投与者(例)		19
BUC 投与率(%)		1.9
PSL 投与率(%)		17.8
投与例の平均 PSL 投与量(mg/day)		4.7
生物学的製剤経験者		369
生物学的製剤経験率(%)		37.1

手術件数		
人工膝関節全置換術(件)		16
人工膝関節単顆置換術(件)		4
人工股関節置換術(件)		7
足趾形成術(件)		6
RA 手関節手術(件)		3
足関節固定術(件)		0
その他(件)		4
合計手術件数		40

関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療		
骨粗鬆症治療の施行(例)	あり	424
	なし	571
ビタミンD製剤(例)	エディロール	222
	ワークミン	46
	ロカルトロール	1
ビスフォスフォネート製剤(例)	デノタス	51
	アクトネル	76
	ベネット	22
	ボノテオ	154
SERM(例)	ボナロン(ゼリー含)	13
	ボンビバ	13
	エビスタ	16
PTH製剤(例)	ビビアント	13
	テリボン	1
抗 RANKL 抗体(例)	フォルテオ(投与中)	3
	フォルテオ(延べ数)	77
その他(例)	プラリア(投与中)	61
	プラリア(延べ数)	73
	グラケー	0

関節リウマチ以外の患者の骨粗鬆症診療		
閉経後骨粗鬆症(例)		62
ステロイド性骨粗鬆症(例)		36
性腺機能不全による骨粗鬆症(例)		8
妊娠後骨粗鬆症(例)		3
男性骨粗鬆症(例)		2
計		111

関節リウマチ臨床成績		
平均CRP(mg/dl)		0.60
平均DAS28(ESR)		2.85
DAS28(ESR)疾患活動性分類(%)	High	5.3
	Moderate	26.5
	Low	25.9
	Remission	42.3
平均SDAI		5.8
SDAI疾患活動性分類(%)	High	2.5
	Moderate	12.0
	Low	37.6
	Remission	47.9
Boolean4(%)		36.9
平均mHAQ		0.4
mHAQ<0.5(%)		70.0

学会発表（医局）

<リウマチ科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	実臨床における関節リウマチのトシリズマブ治療～疾患活動性、日常生活動作、併用薬剤の変化、関節破壊の追跡～	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/20	
2	実臨床における関節リウマチのゴリムマブ治療～疾患活動性、日常生活動作、併用薬剤の変化、関節破壊の追跡～	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/20	
3	実臨床における関節リウマチのアバタセプト治療～疾患活動性、日常生活動作、併用薬剤の変化、関節破壊の追跡～	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/20	
4	関節リウマチにおける非TNF生物学的製剤治療（トシリズマブとアバタセプト）におけるメトトレキサートの減量と中止	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/21	
5	大腿骨骨髓炎を生じたSAPHO症候群の2例	筆頭演者	岡田 裕也	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/22	S
6	実臨床での関節リウマチにおけるイグラチモドの長期治療成績	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/22	
7	関節リウマチ例を除くステロイド性骨粗鬆症に対するテリバラチド連日投与製剤の短期治療成績	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/22	
8	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブの24か月の有効性予測因子－他施設研究TBCR-BONEより－	筆頭演者	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/22	
9	LONG-TERM OUTCOME OF IGURATIMOD, CONVENTIONAL SYNTHETIC DISEASE-MODIFYING ANTIRHEUMATIC DRUG DEVELOPED IN JAPAN, IN JAPANESE PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS IN REAL-WORLD CLINICAL SETTING	筆頭演者	Yuji Hirano	EULAR 2017	Madrid/ Spain	2017/6/15	
10	The Predictors for 24 Months Efficacy of Denosumab, an Anti-RANKL Antibody, on Osteoporosis in Rheumatoid Arthritis Patients from Japanese Multicenter Study (TBCRBONE)	筆頭演者	Yuji Hirano	ASBMR 2017 Annual Meeting	Denver/ USA	2017/9/9	

学会発表（医局）

<リウマチ科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
11	Comparative Study between "Minodronate with Eldecalcitol" and "Denosumab" as Treatment after 2-years Daily Teriparatide in Osteoporosis in Patients with Rheumatoid Arthritis-Results in 24 Months	筆頭演者	Yuji Hirano	ASBMR 2017 Annual Meeting	Denver/USA	2017/9/11	
12	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブの24か月の有効性予測因子—多施設研究TBCR-BONEより—	筆頭演者	平野 裕司	第19回日本骨粗鬆症学会	大阪市	2017/10/20	
13	関節リウマチ例を除くステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチド連日投与製剤の12か月治療成績	筆頭演者	平野 裕司	第19回日本骨粗鬆症学会	大阪市	2017/10/21	
14	デノスマブで治療した妊娠授乳後骨粗鬆症の2例	筆頭演者	岡田 裕也	第19回日本骨粗鬆症学会	大阪市	2017/10/22	S
15	関節リウマチの骨粗鬆症でのテリパラチド連日投与製剤後のミノドロン酸+エルデカルシトールとデノスマブの比較	筆頭演者	平野 裕司	第19回日本骨粗鬆症学会	大阪市	2017/10/22	
16	The predictors of the efficacy of denosumab, a monoclonal antibody to RANKL, on osteoporosis in rheumatoid arthritis patients from Japanese multicenter study; Tsurumi Biologics Communication Registry for BONE (TBCR-BONE)	筆頭演者	Kyosuke Hattori	2017 ACR/ARHP Annual Meeting	San Diego/USA	2017/11/5	
17	関節リウマチの骨粗鬆症でのテリパラチド連日投与製剤後のミノドロン酸+エルデカルシトールとデノスマブの比較	筆頭演者	平野 裕司	第32回日本臨床リウマチ学会	神戸市	2017/12/2	
18	実臨床のRA治療での3種類の生物学的製剤（TNF阻害剤ゴリムマブ、IL-6阻害剤トシリズマブ、T細胞共刺激調整剤アバタセプト）の比較	筆頭演者	平野 裕司	第32回日本臨床リウマチ学会	神戸市	2017/12/2	
19	トシリズマブによる関節リウマチの大関節破壊抑制効果	筆頭演者	平野 裕司	第32回日本臨床リウマチ学会	神戸市	2017/12/2	
20	関節リウマチ治療におけるトシリズマブ効果不十分に対しイグランチモドを追加併用した7例の短期成績	筆頭演者	服部 恭典	第32回日本臨床リウマチ学会	神戸市	2017/12/3	
21	リウマチ性多発筋痛症治療におけるステロイドフリーの予測因子についての検討	筆頭演者	服部 恭典	第32回日本臨床リウマチ学会	神戸市	2017/12/3	

研究会発表（医局）

<リウマチ科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	大腿骨骨髓炎を生じたSAPHO症候群の2例	筆頭演者	岡田 裕也	第5回全三河リウマチ研究会兼第49回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2017/3/11	S
2	当科の関節リウマチと骨粗鬆症の薬物治療の現状報告	筆頭演者	平野 裕司	第5回全三河リウマチ研究会兼第49回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2017/3/11	
3	妊娠授乳後骨粗鬆症について	筆頭演者	岡田 裕也	第7回三河骨粗鬆症研究会	知立市	2017/3/25	S
4	当科におけるセルトリズマブ・ベゴルのC-OPERA試験組み入れ4症例の供覧	筆頭演者	平野 裕司	第50回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2017/5/27	
5	関節リウマチ薬物治療におけるMTXとアダリムマブの効果的な使用法	筆頭演者	平野 裕司	第51回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2017/7/22	
6	リウマチ例を除くステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチド連日投与製剤の12か月治療成績	筆頭演者	平野 裕司	第8回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2017/10/7	
7	若年女性の骨粗鬆症の経験	筆頭演者	山田 梨紗	第8回三河骨粗鬆症研究会	豊橋市	2017/10/7	S
8	リウマチ性多発筋痛症治療とステロイドフリーの予測因子について	筆頭演者	服部 恭典	第52回東三河リウマチ研究会	豊橋市	2017/11/18	

座長・司会（医局）

<リウマチ科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	座長	RAに伴う骨代謝異常とその対策	平野 裕司	RA Total Management Seminar In Nagoya vol.4	名古屋市	2017/3/2	
2	座長	関節エコーを用いたT2Tの実践	平野 裕司	東三河 RA関節エコーセミナー	豊橋市	2017/3/18	
3	座長	骨粗鬆症治療の新時代～アンメットニーズの解消をめざす～	平野 裕司	第7回三河骨粗鬆症研究会	知立市	2017/3/25	
4	座長	Workshop 64 RAの手術:上肢	平野 裕司	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡市	2017/4/22	
5	座長	リウマチ医としてやってきたこと、今やっていること	平野 裕司	第5回三河Orthopaedic Rheumatology研究会	名古屋市	2017/7/1	
6	総合司会	一般演題4演題+パネルディスカッション	平野 裕司	RA Nurse Seminar	豊橋市	2017/7/15	
7	座長	バイオ製剤使用患者に対する看護の現状と今後の課題～当院におけるアンケート結果から～	平野 裕司	Biologics Users' Forum～チーム医療を考える会～	名古屋市	2017/7/29	
8	座長	関節リウマチ診療における関節エコーの役割について	平野 裕司	三遠リウマチカンファレンス～ふだん聞けない関節リウマチの話～	豊橋市	2017/9/2	
9	総合司会	関節リウマチフォーラム in 豊橋	平野 裕司	関節リウマチフォーラム in 豊橋	豊橋市	2017/9/30	
10	座長	一般演題24 骨粗鬆症	平野 裕司	第129回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	富山市	2017/10/6	
11	座長	クリニックにおけるリウマチ診療	平野 裕司	第5回愛知DMARDs研究会	名古屋市	2017/10/14	
12	総合司会	東三河RAコメディカルセミナー	平野 裕司	東三河RAコメディカルセミナー	豊橋市	2017/10/23	
13	座長	関節エコーがこれまでに示してきたエビデンスと今後の展望について	平野 裕司	第4回三河関節エコー研究会	名古屋市	2017/11/25	
14	座長	高齢者RAの治療戦略	平野 裕司	高齢者のRA治療を考える会	豊橋市	2017/11/29	
15	座長	関節エコーを用いた乾癬性関節炎の早期診断～リウマチ医と皮膚科医の連携を含めて～	平野 裕司	豊橋PsAセミナー2017	豊橋市	2017/12/6	
16	座長	当院でのSecinumabの使用経験	平野 裕司	豊橋PsAセミナー2017	豊橋市	2017/12/6	
17	座長	関節リウマチ治療におけるIL-6阻害の重要性	平野 裕司	第8回東三河アクテムラカンファレンス	豊橋市	2017/12/9	

講 演 (医局)

<リウマチ科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
1	関節リウマチの骨粗鬆症にフォルトオを使用する際のClinical Questions	平野 裕司	ステロイド性骨粗鬆症学術講演会	出雲市	2017/1/19	
2	関節リウマチの診断～関節エコーの役割を含めて～	平野 裕司	美濃加茂関節リウマチ研修会	美濃加茂市	2017/1/26	
3	呼吸器障害を考慮した関節リウマチの薬物治療	平野 裕司	第11回臨床リウマチ研究会～リウマチ医の診る肺障害～	名古屋市	2017/2/1	
4	トシリズマブの大関節破壊抑制効果	平野 裕司	第6回整形外科アクティブカンファレンス	東京都	2017/2/4	
5	インフリキシマブ増量の意義と実践～関節リウマチの経験から～	平野 裕司	第9回東三河皮膚疾患談話会	豊橋市	2017/2/9	
6	臨床データから考えるトシリズマブ有効利用マニュアル	平野 裕司	第3回静岡西部IL-6阻害剤アクティブカンファレンス	浜松市	2017/3/9	
7	関節リウマチの患者背景より考えるcsDMARDsの使いどころ	平野 裕司	DMARDs Conference Seminar in 呉西	高岡市	2017/3/15	
8	関節リウマチに対するセルトリズマブペゴルの使用経験からの考察	平野 裕司	関節リウマチWEBシンポジウム	豊橋市	2017/3/30	
9	整形外科リウマチ専門医が考える関節リウマチを中心としたRheumatology	平野 裕司	第13回城北整形外科フォーラム学術講演会	大阪市	2017/4/1	
10	関節リウマチの患者背景より考えるcsDMARDsの使いどころ	平野 裕司	大阪臨床整形外科医会研修会	大阪市	2017/5/13	
11	呼吸器障害を考慮した関節リウマチの薬物治療	平野 裕司	第1回東濃地区関節リウマチセミナー	多治見市	2017/5/25	
12	合併症を考慮した現代の関節リウマチ診療	平野 裕司	第4回鳥取県東部関節リウマチセミナー	鳥取市	2017/5/26	
13	関節リウマチの診断と治療～関節エコー、メトトレキサート、抗TNF療法～	平野 裕司	第4回萩市リウマチを語る会	萩市	2017/6/9	
14	当科における関節リウマチの生物学的製剤の使い分けの実際	平野 裕司	リウマチ治療セミナー	名古屋市	2017/6/30	
15	ステロイド性骨粗鬆症と関節リウマチの骨粗鬆症	平野 裕司	山口ステロイド性骨粗鬆症・乾癬性関節炎を考える会	山口市	2017/7/5	
16	合併症を考慮した現代の関節リウマチ診療	平野 裕司	Niigata Meet the Expert	新潟市	2017/7/7	
17	呼吸器障害を考慮した関節リウマチの薬物治療	平野 裕司	第46回日本リウマチの外科学会	仙台市	2017/8/25	
18	高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤治療	平野 裕司	Real World RA Seminar 2017 in TOKAI	名古屋市	2017/8/26	
19	臨床データから考える関節リウマチにおけるIL-6阻害療法の有効利用マニュアル	平野 裕司	運動器疾患/骨・関節フォーラム	大阪市	2017/9/16	
20	ステロイド性骨粗鬆症の臨床徴候、病態、治療	平野 裕司	東三学術講演会	豊橋市	2017/10/4	
21	ステロイド性骨粗鬆症の臨床徴候、病態、治療	平野 裕司	第13回愛知県抗サイトカイン療法研究会	名古屋市	2017/10/12	
22	日本人の臨床データから考えるアダリムマブの効果的な使用法	平野 裕司	日本人エビデンスから見たRA治療を考える会	浜松市	2017/10/28	

講 演 (医局)

<リウマチ科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師区分
23	関節リウマチの骨粗鬆症に対するデノスマブ治療～Tsurumai Biologics Communication Registry -BONEより～	平野 裕司	RA領域適応追加講演会～デノスマブを再考する～	名古屋市	2017/11/2	
24	ステロイド性骨粗鬆症と関節リウマチの骨粗鬆症	平野 裕司	第4回西尾張骨粗鬆症の会	一宮市	2017/11/11	
25	関節リウマチの診断と治療～関節エコー、メトトレキサート、抗TNF療法～薬物治療の実際	平野 裕司	リウマチ診療の輪 in 知立	知立市	2017/11/16	
26	当院でのSecinumabの使用経験	服部 恭典	豊橋PaAセミナー 2017	豊橋市	2017/12/6	
27	高齢関節リウマチ患者の生物学的製剤治療	平野 裕司	第4回高山リウマチフォーラム	高山市	2017/12/7	
28	トシリズマブ効果不十分例に対するcsDMARDsを追加併用した検討	服部 恭典	第8回東三河アクテムラカンファレンス	豊橋市	2017/12/9	
29	当科における関節リウマチの生物学的製剤の使い分けの実際	平野 裕司	宮崎膠原病リウマチ治療研究会	宮崎市	2017/12/13	

論文・著書(医局)

<リウマチ科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名	医師 区分
1	関節リウマチに対するイグラチモド長期投与例の検討	筆頭著者	磯野 正晶	中部リウマチ. 2017; 46: 24-26.	
2	有害事象により他の生物学的製剤からアバタセプトに変更した関節リウマチの治療成績	筆頭著者	長谷川純也	中部リウマチ. 2017; 46: 27-29.	
3	ステロイド性骨粗鬆症に対するデノスマブービスホスホネート製剤との違い	筆頭著者	平野 裕司	リウマチ科. 2017; 57: 401-409.	
4	関節リウマチにおける生物学的製剤の長期継続率および治療効果への糖尿病の影響	筆頭著者	磯野 正晶	臨リウマチ. 2017; 29: 22-28.	
5	関節リウマチの薬物治療におけるステロイド治療の最近のトレンドとエビデンス	筆頭著者	平野 裕司	リウマチ科. 2017; 58: 593-599.	